

えがお大東っ子 第27号

大東市のホームページでも「えがお大東っ子」をご覧ください。

<http://www.city.daito.lg.jp/kakukakaranoosirase/gakoukyoiku/kyouikukenkyu/egaodaitoukko/>

大東市エンパワメント研修事業

～すべての子どもが自分の力を発揮できるクラスづくり～

「エンパワメント」とは、その人が本来持っている力を引き出すことです。本年度、大東市では四条北小学校と深野小学校の2つの小学校を「モデル校」に指定し、モデル校での取組みや市内教職員対象の研修会を通して、すべての子どもたちが自分の力を発揮できるような『信頼ベースの学級づくり』を進めています。「株式会社ひとまち」の代表取締役である ちょん せいこ 先生にご指導をいただきながら、みんなが意見を伝え合う豊かな言語活動を通じてコミュニケーション力を高め、信頼関係を築いていくことをめざしています。今回はモデル校の取組みの一部をご紹介します。

モデル校では、どちらも6年生がモデルクラスになっていますが、最初は絵本の読み聞かせからスタート。机を教室の後ろに下げて前に集合します。絵本の読み聞かせを続けることで子どもたちは柔らかな気持ちになり、言葉遣い等にも良い影響が表れてきます。



ホワイトボードを使ったコミュニケーションでは、絵による表現やクイズなどで少し遊んだ後、お互いのことを知るために質問します。「好きな食べ物は?」「好きなスポーツは?」「休みにしていることは?」等、ボードを一斉にオープンし、ちょん先生はすべての内容を読み上げます。これにより、子どもたちは安心を感じるとともにクラスみんなのことを知ることができます。そこからオープンクエスチョン「質問の技カード」

を使ったペア活動でコミュニケーションのスキルを高めます。相手に聞いてもらえる安心感から、自分のことを話せることにつながっていきます。

教室内に遊びの文化を育む「会社活動」では、“自分の好きなことをする”と“人の役に立つ”を大切に、新聞会社・雑貨会社・イラスト会社・植物会社・動物会社のようにメンバーを構成し、活動していきます。クラスの運営や学習活動を進めていく中で、各会社に依頼をし、仕事をしてもらうことで活躍の場が生まれます。



モデル校では、今回ご紹介した取組み以外にも、クラスの一人ひとりに対して感謝のメッセージを書いて渡す「ハートカードプロジェクト」等といったさまざまな活動を通して、お互いを認め合い、安心できる学習環境づくりを進めています。

困っている子を支援するための通級指導教室

特別な教育的ニーズのある子どもたちは、毎日、どんな思いで過ごしているのでしょうか。例えば、黒板を写すのに時間がかかったり、文字や行をとばして読んでしまう。また、整理整頓が苦手だったり、話を最後まで聞かず、突然答えを言ってしまったり、順番を待たずに割り込んでしまったりする子どもたち。実は、とても「困っている」かもしれません。そんな「困っている子どもたち」を支援する選択肢として次の4つがあります。

①支援学校に進学する

②市内の小中学校に進学する

ア：支援学級に在籍する

イ：通常の学級に在籍し、通級指導教室で支援を受ける

ウ：通常の学級に在籍し、教育のユニバーサルデザイン(*)の考え方をもとに支援を受ける



ここでは、イの「通級指導教室で支援を受ける」ことについて説明します。通級指導教室で支援を受ける児童生徒は、通常の学級に在籍し、ほとんどの授業を通常の学級で受けながら、通級指導教室に通うことで、学習の補助や体の機能訓練などの支援を受けます。通級指導教室を利用するには、教育委員会への申請が必要です。大東市には小学校に3教室（南郷小学校、灰塚小学校、三箇小学校）と中学校に1教室（住道中学校）の4つの通級指導教室が設置されています。通っている学校に通級指導教室が設置されていない場合でも、以下の割当て通級指導教室を利用できます。詳しくは、学校または教育委員会事務局（870-9643：支援教育担当）まで、お問い合わせください。

☆氷野小・住道北小・四条小	⇒	南郷小学校	通級指導教室
☆諸福小・住道南小・泉小	⇒	灰塚小学校	通級指導教室
☆深野小・四条北小・北条小	⇒	三箇小学校	通級指導教室
☆市内全中学校	⇒	住道中学校	通級指導教室

*障がいのある子どもにとってはもちろん、クラスのどの子どもにもより理解しやすくなる支援内容。
全ての子どもたちが安心して過ごすことのできる居心地の良い学校・学級を築く考え方。

第10回大東市小中学生弁論大会のご案内

日時：平成27年11月12日（木）午後2時 開会

場所：サーティホール（大ホール）

内容：テーマ「心をことばに～伝えたい気持ち～」

小学校6年生・中学生10名による弁論

小学校5年生12名による1分間スピーチ



小学校6年生1,075名、中学生2,774名の中から選ばれた10名の「弁論」と、小学校5年生12名による「1分間スピーチ“わたしの学校紹介”」の発表です。家庭、地域、学校での「人との出会い」の中で、また「社会の出来事」の中で、小・中学生が心に感じた素直な気持ちをことばにして伝えます。

さわやかな、そして心揺さぶる小・中学生の熱弁にご期待ください。

秋・・・みんなでスポーツしませんか

第41回 大東市民マラソン大会

今年で 41 回目を数える大東市民マラソン大会は、深北緑地球技広場をスタート・ゴールとし、園内の周回路を走ります。

小学生の方には 2.2 km の部が、一般（16 歳以上）の方には 10 km・5 km の部、50 歳以上・中学生の方には 3 km の部があります。また、家族と一緒に走るファミリーの部（2.2 km）は、人気の高い種目です。

秋の紅葉の季節を楽しみながら、駆け抜ける喜びを感じてみませんか。皆さんの参加をお待ちしています。

日 時：平成 27 年 11 月 22 日（日）小雨決行 午前 9 時 30 分から開会式

*雨天予備日：12 月 6 日（日）

場 所：深北緑地球技広場

申込期間：10 月 1 日（木）～16 日（金）

受付場所：スポーツ振興課（市民会館 5 階）

参加料：300 円（傷害保険料込み）



～地域ファミリースポーツ～ 〔四条ブロック大会〕

この大会は、誰もが気軽にスポーツを楽しめるように、ルールが簡単なニュースポーツを取り入れ、大東市スポーツ推進委員が開催しています。

種目は、人気が高くおなじみのカローリングに加え、スポーツ推進委員が考案し人気上昇中の「ボール de ビンゴ」を行います。

いずれも 1 チーム 4 人で行いますが 1 人でも参加できます。日頃、運動不足と感じている方、この機会に一度参加してみてもはいかがでしょうか？ご家族揃ってのご参加をお待ちしています。

日 時：平成 27 年 11 月 29 日（日）午前 9 時 30 分から（受付は 9 時 00 分から）

場 所：大東市立四条体育館（来びらり四条）

種 目：カローリング、ボール de ビンゴ

持ち物：体育館シューズ ※水分補給は各自でお願いします。

参加費：無料



11 月は「こころの再生」府民運動推進月間です！

府民一人ひとりが「生命を大切に」「思いやる」「感謝する」「努力する」「ルールやマナーを守る」など、時代や社会がどのように変化しても決して忘れてはならない大切な『5つのこころ』を改めて確認し、一人ひとりの行動を見つめ直すことを呼びかける運動です。 【問い合わせ先】大阪府教育委員会事務局教育総務企画課 TEL06-6944-8042



教員主体の授業から、 子ども主体の授業へ！

～今、学校教育に求められる学力の考え方が変わってきています～



子どもたちは、将来、複雑で変化の激しい社会に適応し、力強く生き抜かなければいけません。社会の変化に対応しながら、さまざまな情報や出来事を受け止め、主体的に判断し、他者とともに協働しながら課題を解決していく力が必要となってきます。学校教育には、これまでは、知識・技能を身につけたうえでそれを活用する力、すなわち思考力・判断力・表現力を身につけることが求められてきました。これからは、それをさらに超えて、主体的・能動的かつ協働的に課題を発見し解決していく力が求められていきます。このような力を育成するために、最近、『アクティブ・ラーニング』(*)という言葉がよく取り上げられています。これは、教員による一方向的な講義形式の授業ではなく、さまざまな活動や体験を伴う学びのスタイルの総称です。

ただし、このような学習は、決して新しく始めることではありません。大東市全体で取り組んでいる「学び合う授業づくり」は、まさにアクティブ・ラーニングに当たります。

基礎的・基本的な知識や技能を確実に身につけることはもちろん重要です。したがって、これまでのこつこつと積み上げていく学習や講義形式の授業の利点も大切にしながら、子どもたちが課題解決に向けて、仲間とともに思いや考えをのびのびと表現したり、課題意識をもって調べたり、意欲的に意見を交換し合ったりする授業を展開しています。効果的に意見交流を行うために、ペアやグループでの活動を取り入れることもあります。また、目的を持って意見を交換し合ったりするために、教室内を動き回り、学びを広げ、深めている姿も見られます。



* 学びの質や深まりを重視し、課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習のことで、合わせて知識・技能の定着や学習意欲の向上も図ろうというもの

大東市の文化財紹介 ～ “天下人の城” 飯盛城 ～

飯盛城は大東市の東方にそびえる飯盛山に築かれた戦国時代の城です。城と聞くと、天守閣を持つ大阪城のような城を想像されるかもしれませんが、飯盛城は尾根や谷などの自然地形をいかしてつくられた山城で、大小70ほどの郭（城を守るために平らにされた土地）や石垣などの遺構がよく残っています。城主の三好長慶^{みよしながよし}は、織田信長よりも前に室町幕府^{むろまち}を抑え、近畿と四国の大半を支配した武将で、いわば最初の天下人とも言えます。

城の範囲は山頂付近を中心に、南北約 600 メートル、東西約 450 メートルにおよび、大阪府下では最大級の規模です。山頂からは、大阪平野や淡路島、四国、そして京都方面など、長慶が支配した地域を見渡すことができます。教育委員会（生涯学習課）では、城の大きさや構造がわかるように、山頂には郭や石垣の位置を示した案内板を設置していますので、“天下人の城” 飯盛城跡に是非お出かけください！



山頂付近に残る石垣